

(表)

地球温暖化対策実施状況報告書

平成 18 年 6 月 30 日

(報告先)
横浜市長殿

報告者 住 所 〒108-8215
東京都港区港南二丁目16番5号
氏 名 三菱重工業株式会社
取締役社長 佃 和夫

横浜市生活環境の保全等に関する条例第144条第2項の規定により地球温暖化を防止する対策の実施の状況を報告します。

事業所の名称	三菱重工横浜ビル	
事業所の所在地	〒220-8401 横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号	
地球温暖化対策 の実施年度等	実施年度	平成 17 年度
	地球温暖化対策 計画の計画期間	平成 15 年度 ~ 平成 17 年度
連 絡 先	関東菱重興産(株) 横浜ビル営業部 設備課 係 担当者氏名 樽松 博志 (電話 045-224-9812) (FAX 045-224-9973) (E-mail hiroshi_kurematsu@kre.hq.mhi.co.jp)	
※ 受付欄 (地球温暖化対策計画受付番号)		

(注意) ※印の欄には記入しないでください。

(A4)

(裏)

地球温暖化対策の実施状況					
実施年度の 温室効果ガス 排出量	ガスの種類	排出量 (二酸化炭素換算 単位：トン)		基準年との増減 (単位：トン)	
	二酸化炭素	10,386.1		+70.6	
	メタン	0			
	一酸化二窒素	0			
	HFC	0			
	PF ₆	0			
	SF ₆	0			
	合計	10,386.1		+70.6	
※ 温室効果ガスの 排出の抑制に 係る目標の 達成状況	温室効果ガス排出量の抑制に係る目標 (二酸化炭素換算 単位：トン)				
	基準年度の排出量	目標値	削減率	達成状況	
			%削減		
	温室効果ガス排出原単位の抑制に係る目標 (二酸化炭素換算 単位：トン又はkg)				
	指標	基準年度の 原単位排出量	目標値	削減率	達成状況
	単位面積 当たり	0.137 トン	0.135 トン	1.8% 削減	0.131 トン
※ 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の達成状況			別添とする		
地球温暖化対策の実施状況の公表の方法					
ホームページ http://www.yokobi.co.jp					
その他地球温暖化を防止する対策の実施に関する事項					

(注意) ※印の欄は計画期間の最終年度の実施状況を報告する場合に記入してください。

平成17年度 温室効果ガス排出の抑制に関する処置

1. 平成17年度の評価

平成17年度は温室効果ガス排出量全体では前年度対比154.9 t (1.5%)減となり、実使用面積0.3%増であった為、原単位も0.002 t CO₂/m²(1.5%)減となった。

2. 平成15年度～平成17年度3年間の評価

温室効果ガス排出量は70.6 t(0.7%)増であったが、実使用面積3,938.5 m²(5.2%)増となった為原単位は0.006 t CO₂/m²(4.4%)減となった。

3. 平成17年度実施済対策

(1) 変電室変圧器統合運転

- ・ 2台の変圧器から供給していた負荷を1台に統合し1台停止
- ・ 電灯変圧器300KVA7組

(2) 給排気ファン運転時間見直し

- ・ 給排気ファン運転時間を見直し、必要な時だけ運転することとした

(3) 地下1階駐車場照明間引き

- ・ 地下1階駐車場の不要部分の照明を間引きした。

(4) 地下1階駐車場他照明ダミー管取付け

- ・ 地下1階駐車場他の40W×2灯用照明110台の1本をダミー管に交換した

(5) 4階・21階・34階変電室空調機自動運転

- ・ 外気取り入れによる冷房を採用し、空調機を停止することにより、冷水使用量を削減した。

(6) みなとみらい技術館照明電圧調整による省電力化

- ・ 照明の電圧を低下させることにより、省電力化した

(7) 1階エレベーターホール等照明間引き

- ・ ビル内の不要部分の照明を間引きした

(8) クールビズ・ウォームビズの推奨